

～ 語れなかった満州 … 個人の記憶を社会の歴史に ～

満蒙開拓の歴史をより深く多面的に考える恒例の冬季連続講座。今回も多彩な講師陣をお迎えします。

<第1回>

3月2日(土)

午後2時～3時半

テーマ

満州移民と「大日向村」  
—三つの大日向をたどって—

講師

佐久穂町  
教育委員会  
文化財・芸術係  
大工原千恵氏



モデル分村として注目された大日向村開拓団。大工原さんは町職員として資料の保存・整理に長年携わりながら、地域の人々の歩みを見つめてきました。送出を決めた母村の状況・満州の開拓村・戦後再入植の軽井沢、3つの「大日向村」をたどります。

<第2回>

3月9日(土)

午後2時～3時半

テーマ

引揚げと性暴力を語り継ぐ  
—満蒙開拓と「彼女たち」の戦後

講師

京都大学  
非常勤講師  
山本めゆ氏



満洲や朝鮮半島では、敗戦前後より数多くの性暴力が発生しました。被害を受けた女性たちは何を経験し、どのような戦後を送ってきたのでしょうか。彼女たちが残した声に耳を傾けながら、そのような過去を次世代に語り継ぐ意義と方途を考えていきます。

<第3回>

3月23日(土)

午後2時～3時半

テーマ

いま、戦争の記憶の継承と  
平和の意味を考える  
—平和ミュージアムの役割—

講師

安齋科学・  
平和事務所所長  
安齋育郎氏



立命館大学国際平和ミュージアムの名誉館長であり「平和のための博物館国際ネットワーク」の諮問理事でもある安齋氏。平和な社会構築のためにミュージアムが担う社会的役割を、平和とは何かという広い見地からお話しいただきます。

<申し込み要領>

受講料：各回記念館入館料(一般 500 円、小中高 300 円)

定員：各回40名 定員に達し次第締め切り

次の項目に記入の上、記念館へ FAX、TEL でお申し込みください。

**FAX・TEL 0265 (43) 5580**

\*大雪などの悪天候などにより中止する場合があります。その際の連絡先をご記入ください。

氏名 \_\_\_\_\_ 連絡先 \_\_\_\_\_ ( ) \_\_\_\_\_

メールアドレス \_\_\_\_\_ @ \_\_\_\_\_

\*受講を希望される講座に○をしてください

第1回(3/2)

第2回(3/9)

第3回(3/23)

お申し込み後にご都合が悪くなった場合はキャンセルのご連絡をお願いします。